

あとがき

ここ数年来、僧帽弁閉鎖不全なる一病にみまわれて、医通いが続いている。

要注意は水分の取り過ぎと急激な肥り過ぎである。にもかかわらず中年肥りのせいか、首回り、胴回りは、優にその適正寸法を越えた。

これも着られず、あれも着られずという妻の嘆息をよそに、庭に出ずれば、あんずの葉上に何やら緑の一塊。

芋虫大にして、角あり、ストライプあり。なかなかダンディーな一物である。

早速、「庭・畑の昆虫図鑑」にて調べてみれば、蛾の幼虫にして、モモスズメとあたる。その脇にブドウスズメと云うのも載っている。

葡萄に来るからブドウスズメ。桃にく
るからモモスズメか。それにしてもこの
スマートな肥り様は、吾がミニチュア版
にして快なる哉である。

此のころころ虫が大いに気に入ったので
本集名とした。

この度も本集上木に当っては、風神社の
富田直治氏に一切合財お世話になった。

厚く御礼申し上げたい。

平成三年初秋

高 沢 良 一

